

樹木のケムシ退治



緑化用

農林水産省登録第3233号
DEP乳剤

ディプロテックス® 乳剤

®は登録商標



アメリカシロヒトリ

年2回(一部3回)の発生。幼虫は5~7月と8~9月に発生。



マイマイガ

年1回の発生。幼虫は4~6月に発生。



食用作物には使用できません



モンクロシャチホコ

年1回の発生。幼虫は8~10月に発生。



チャドクガ

年2回の発生。幼虫は6月と8~9月に発生。

食用作物には使用できません。使用前にはラベルをよく読んでください。ラベル記載以外には使用しないでください。小児の手の届く所には置かないでください。

販売元  **サンケイ化学株式会社**

取扱い

東京本社 〒110-0005 東京都台東区上野7-6-11 ☎(03) 3845-7951
東京営業部 〒366-0032 埼玉県深谷市幡羅町1丁目13-1 ☎(048) 551-2122
大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目5-1 ☎(06) 6305-5871

緑化用

ディブテックス[®] 乳剤

農林水産省登録 第3233号
 (ユーピーエルジャパン(株)登録)
 有効成分：DEP 50.0%
 性 状：赤色可乳化油状液体
 毒 性：劇物

特長

本剤は浸透移行性があり接触毒、食毒、ガス毒の諸作用により広範囲の害虫に優れた防除効果を示します。特にチョウ目等に卓効を示します。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	DEPを含む農薬の総使用回数
樹木類 (さんごじゅを除く)	ミノガ類、シャクトリムシ類	1000倍	200～700ℓ /10a	発生初期	6回以内	散布	6回以内
	ケムシ類	1000～1500倍					
さんごじゅ	アブラムシ類、ワタノメイガ ミノガ類、シャクトリムシ類	1000倍					
	ケムシ類	1000～1500倍					
まつ類	ハバチ類			幼虫期			
桑	クワノメイガ、アメリカシロヒトリ ヒシモンヨコバイ、ハゴロモ類			摘採14日前まで			
芝	スジキリヨトウ		1～1.5ℓ /1㎡				
花き類・観葉植物 (カーネーション、 宿根かすみそう、 ほおずきを除く)	ヨトウムシ類	1000倍	100～300ℓ /10a	発生初期	6回以内	散布	6回以内
カーネーション 宿根かすみそう	ハモグリバエ類 ヨトウムシ類						
ほおずき	テントウムシダマシ類 カメムシ類、ヨトウムシ類						

<注意事項>

- 使用量にあわせ薬液を調製し、使い切ってください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液等アルカリ性薬剤との混用はしないでください。
- 芝のスジキリヨトウ防除に使用する場合は、本剤の所定希釈液を1㎡当り1～1.5ℓ芝の上からじょうろ等により全面に灌注してください。
- 桑の害虫に対する散布の場合、老令幼虫に対しては効果が不十分な場合もあるので、若令幼虫を主体に使用してください。なお、養蚕地帯、稚蚕飼育場等の周辺では飼育期間中の使用は避けてください。
- 自動車に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 蚕に対して影響があるので、桑に使用後14日間は蚕に桑葉を給餌しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - ②養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡する等、周辺への飛散に注意し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、薬液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- ハウス内で散布した後は十分に換気してから入室してください。

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には、吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 火災時は、適切な保護具を着用し消化剤等で消化に努めてください。
- 漏出時は、保護具を着用し、布・砂等に吸収させ回収してください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
- 飲めません。
- 有効年月内に使用してください。
- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱い及び作業をしないでください。
- 本剤による中毒の治療法としては、動物実験で硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効であると報告されています。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 密栓し、火気をさけ、食品と区別して、直射日光の当たらない冷涼な所にカギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は警察に届け出てください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない人が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。

